

南越谷阿波踊り

暑い夏が、やって来る

越谷市の夏の風物詩はなんといっても、南越谷阿波踊り！ 約6,000人の踊り手・鳴り物が躍動し、開催期間中は例年約70万人の観客で、まちは阿波踊り一色に染まります。

南越谷阿波踊りって？



南越谷阿波踊り実行委員会
実行委員長
せきもり ほんよし
関森 初義さん

南越谷阿波踊りは、「自分たちの住むまちに誇りと愛着が持てるような祭りをつくらう」という想いから始まって、今年で39回目を迎えます。
昭和60年(1985年)の第1回開催から本場徳島の連を招き、本物にこだわって基本と伝統を大切にしてきました。これまで、地域住民の皆さんをはじめ、行政、警察、消防、商店会、自治会等多くの関係者の協力もあり、今では「日本三大阿波踊り」と呼ばれる規模となり、地域に愛される一大イベントになっています。
南越谷阿波踊りでは、祭りの終了後、ご協力いた

いている関係者でごみを拾います。これだけの規模のイベントが終わったあととは思えないくらいきれいにするのを心がけています。初めて参加した人はびっくりすると思いますよ。

祭りが盛んなまちは、いいコミュニティができると思います。阿波踊りでは、踊り手を中心に観客を巻き込んで、共感が生まれます。踊り手も観客も楽しくなり、一人ひとりの想いが、まち全体に喜びとして広がる。そんな人生の豊かさや新たな価値観が生まれる場所になればと思っています。

南越谷阿波踊りが地域に根付き、「心のふるさと」になるよう、目標は、「参加連100連で100万人の観客の前で踊ること」なんです。

彩豊かな連の練習風景

南越谷阿波踊りを彩る連の数々。踊りや鳴り物のリズムは、どれも個性があり魅力的。日々の練習を取材し、一人ひとりの心の中にある想いを聞いてきました。

2024年 越谷市長賞受賞 巴連

個性豊かなメンバーが集まる約60人の連。連の印にも描かれている踊り手、鳴り物、観客の三位一体の阿波踊りを心から楽しんでます。平成23年に発足した若い連で、笑顔の絶えない連を目指しています。

2024年 徳島市長賞受賞 維新連

幅広い年代が集まる約50人の連。小学2年生から50代までが正調の「ぞめぎ」と「踊り」を追求し、1年を通して練習に励んでいます。「徳島おどりフェスタ～全国阿波おどりコンテスト～」で最優秀賞を受賞しました。

観客から踊り手としてデビュー

あおき みなよ
青木 美菜代さん

南越谷阿波踊りはもともと大好きでよく見に行っていました。阿波踊りを自分でも踊りたいと思っていたときに見た巴連の流し踊りがとても印象的で、即、ここで踊りたいって思いました。
昨年は観客として見ていたのに、今年の夏は観客の皆さんの前で踊ることになりました。ずっと見ていた祭りに自分も参加できることがすごくうれしいです。緊張すると思いますが、楽しみです。

阿波踊りは生活の一部

ゆあき たかし
湯浅 峰さん

友人に誘われて阿波踊りを始めました。ふだんは会社勤めですが、練習がある日には、在宅ワークを取り入れるなど仕事とのバランスをとっています。もう阿波踊りは生活の一部になっていますね。阿波踊りにはまって、娘と息子を誘って、親子3人でとっぷり浸かっています。
地域での交友関係が広がり、仲間がたくさん増えました。毎日が楽しくて、維新連は成長がテーマ。伝統を大切にしつつ新しいアイデアを取り入れ、日々進化しています。

みんなで作り上げる集団美が魅力

たなか よしみ
田中 好美さん

育児も一段落して自分の趣味を楽しみたいと思ったときに、たまたま見たのが、阿波踊りだったんです。みんなで踊りの構成を考えて作り上げていく作業は、とても充実しています。たくさんの仲間ができて大人の部活動みたいで楽しいです。
巴連ならではの女提灯のパートや、女踊りの集団美に注目してもらえればと思います。

家族で一緒にやってきたことがうれしい

たなか びほり
滝澤 美幸さん

子どもの頃から地元の南越谷に住んでいます。物心ついたときには、すでに南越谷阿波踊りが身近にありました。家族や親せき、みんなで阿波踊りに参加しています。きっかけは、息子と娘が参加していた子ども踊り。子どもたちに付き添っているうちに「自分もやってみよう」と思うようになって。お祭りを通じて交友関係もずいぶん広がりました。子どもたちは20歳を超えましたが、家族と一緒にやってきたことがうれしいです。

地域に根付く・つながる阿波踊り

南越谷阿波踊りで越谷市をもっと熱く盛り上げたい。そんな想いで活動している(一社)南越谷阿波踊り振興会の皆さんの活動をご紹介します。



南越谷阿波踊りモニュメント「つなごう」

JR武蔵野線南越谷駅前には阿波踊りのモニュメント「つなごう」があります。親子で阿波踊りを踊るブロンズ像は、阿波踊りの伝統と次世代への継承が表現されています。この夏開催される第39回南越谷阿波踊りで多くの観客の皆さんをお迎えにあたって、清掃を行いました。

越谷北高校吹奏楽部とのコラボレーション

越谷北高校の「全日本高等学校選抜吹奏楽大会」出場が縁で、南越谷阿波踊りとのコラボが実現しました。定期演奏会では、吹奏楽部の新入部員21人と南越谷阿波踊り合同連が共演し、会場は大いに盛り上がりしました。



渋谷で阿波踊りを披露

8月に開催される本場の徳島市阿波おどりを、渋谷で体験できるイベント「THE AWA ODORI～序章～IN SHIBUYA」が開催されました。徳島市阿波おどり振興協会に所属する有名連から選抜された踊り手とともに、南越谷阿波踊りの合同連と高円寺阿波おどりの合同連が参加。首都圏の阿波踊りファンに向けて、その魅力をPRしました。

子どもたちも一足先に阿波踊りデビュー！

越谷どろんこ保育園の夏祭り「どろんこ祭り」では、維新連、ゆうゆう連、泰斗連、翔鳳連から16人が参加し、園児たちと阿波踊りを踊りました。最初は見よう見まねだった子どもたちも、すぐに上達して笑顔で初めての阿波踊りを楽しんでいました。



地元の高校生も活躍しています！

市内の観明高校では、「越谷観明連」を立ち上げ、南越谷阿波踊りに参加しています。生徒と先生、卒業生で構成され、地元・泰斗連の指導のもと、踊る喜び、奏でる喜びを大切に、日々練習に励んでいます。また、生徒たちは、運営ボランティアにも積極的に参加し、南越谷阿波踊りの運営を支えています。祭りを通じて、高校生が元気に地域に関わっています。

レイクタウンも阿波踊りムード一色

イオンレイクタウンで、「南越谷阿波踊りがやってくるinレイクタウン」が開催されました。地元連と高円寺江戸っ子連が参加し、総勢300人の踊り手と鳴り物が、本番さながらの迫力と美しさで集まった観客を魅了しました。



さあ、あなたも越谷の暑い夏を楽しもう！

第39回 南越谷阿波踊り

	前夜祭	舞台踊り	流し踊り
日時	8月22日(金) 19:00～21:00	8月23日(土)・24日(日) 14:00～21:00	8月23日(土)・24日(日) 17:10～21:00
会場	サンシティ大ホール・ショッピング広場	サンシティ大ホール・小ホール	南越谷中央通り演舞場、東口南通り演舞場、西口駅前通り演舞場、西口南通り演舞場

ほかにも楽しいプログラムが盛りたくさん！ぜひご参加ください！

みなと踊ろう！子どもにわか連

初心者大歓迎！阿波踊り教室

南越谷阿波踊り振興会ホームページ

☎986-2266 (一社)南越谷阿波踊り振興会